

8月13日(日) 第二礼拝

「アブラハムの神様 イサクの神様 ヤコブの神様」 出エジプト 3章 6節

モーセがミデヤンの荒野で羊飼いをしている時、芝の中の火の中で神様と出逢い「わたしは、あなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」と語られました。

第一番目、アブラハムの体験した神様。ローマ 4:17 アブラハムの神様は死者を生かし、無いもの無いものを有るもののようにお呼びになる方です。彼は望みえない時に望みを抱いて信じました。それは、「あなたの子孫はこのようになる」と言われていた通りに、あらゆる国民の父となるためでした。そして、死んだも同然のような体のアブラハムとサラに、イサクが与えられました。しかし、創世記 22:2 神様はそのイサクを生贄として捧げなさいと言われます。アブラハムは、イサクが死んだとしても、神様は生かしてくださると信じました。彼がイサクを捧げようとしたその時、神様が彼を止め、イサクの代わりに生贄を備えてくださいました。その生贄とは、イエスキリストです。アブラハムが最愛の子を捧げようとしたので、神様は代わりに神様の愛する子を備えてくださったのです。創世記 22:18 「あなたの子孫を通して、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。」あなたの子孫とはイエス様のことです。私達も神様に聞き従い、最も大切なものを捧げる時、神様はイエス様による祝福を与えてくださいます。イエス様は5つのパンと2匹の魚を用いて、男性だけで5千人もの人々を満腹させ、余りは12かごとなりました。これがアブラハムの祝福です。

第二番目、イサクの体験した神様。アブラハム(約120歳)がイサク(約20歳)を縛って生贄としようとする時、イサクは反発して逃げることもできましたが、父アブラハムに従順しました。その結果、イサクの人生は祝福を受けるようになりました。イサクを通して、死に至るまで従順するイエス様の十字架の恵みが啓示されています。イエス様を通して、私達は罪の赦し、永遠のいのち、聖霊様が与えられ、アブラハムの祝福を受ける者となりました。イサクはペリシテ人の地に行っても、種を蒔くと百倍の祝福を得ました。井戸を掘れば全て水が出ました。このイサクの祝福が、大収穫のために私達クリスチャンにも移動するのです。

第三番目、ヤコブの体験した神様。ヤコブは肉に属する者でした。父親を騙して長子の権利を奪い、叔父ラバンの家に逃げます。しかし、ヤコブもまた騙され、20年ラバンに仕えた後、逃げだしました。その後、兄エサウが400人を引き連れてヤコブに向かってやってきたのを知り、ヤコブは持ち物や家族を先に行かせ、自分は川を渡ろうとせず、逃げ腰となりました。そのような彼に、天使が現れ、夜通し相撲をします。天使はヤコブのもものつがいを打ったため、彼は足を引きずり(逃げることができない状態)、神様だけに頼るようになりました。この弟の姿を見て、エサウは復讐心から憐みの心へと変えられました。自分が弱くなり、イエス様だけに頼る時、敵が変わり、全ての問題が解決されていきます。これがヤコブの神様です。人間的な性質が碎かれる度に、名前もヤコブからイスラエルへ、そして、イスラエルからエシュルンへと変わっていきました。アーメン！